

評価+情報専門部会 重い核の断面積評価 ワーキング・グループ

時：昭和45年2月6日（金）1.00 p. m. ~ 5.00 p. m.

所：原研東海第5会議室

出席者：山本、五十嵐、川合、松延、川本、中村、岩城、中島、飯島

配布資料：

- 1 前回会合議事録
- 2 Prompt Neutron par Fission U²³⁵ 図
- 3 U²³⁵ Fission Cross Section 図

(議事)

今後計画について

- 1 今後の事業計画に関連して3月中旬迄にsmooth partの収集が出来るかどうか。-----データ収集範囲にもよるが一応出来るものと見る。
- 2 データ・シート記入は一論文一枚で良いだろう。反応毎に分けても良いが個人の任意。
- 3 データは一応1965年以後(BNL-325以後)のものとする。
- 4 Relative measurement の時は、使われた standard cross section の値、curve を記載する。U²³⁵とのratio が測られている場合等にはratio data も記載する。
エネルギー点1点でabsoluteを測定をし、他のエネルギー点はそれにrelative を測定等では、どこでabsolute をやったかを明示しておけばよい。
- 5 SCISRSデータのプロットは核データ研究室で出来る、
- 6 データのエネルギー平均は3月末迄はやらない。
- 7 数値の格納方法 -----データ・カード Format の検討を川合委員。
- 8 Table は文献リスト毎／page
- 9 次回3月23日(月)